

(2) 地震時の行動

地震発生

身の安全を確保！

緊急地震速報！

シェイクアウト



まず低く 頭を守り 動かない

寝ていたら



布団や枕で頭を守り、家具が倒れてこないところに身を伏せましょう。

買い物中なら



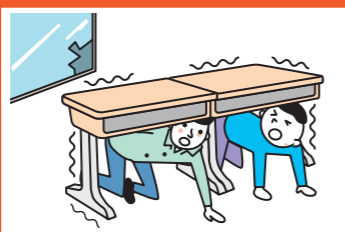
買い物カゴや鞆で頭を守り、店員の指示に従いましょう。

電車に乗っていたら



吊革や手すりにつかまり、体が放り出されないようにしましょう。

仕事・授業中なら



本棚やロッカーが倒れたり、窓ガラスが割れたりするので注意しましょう。

ビル街を歩いていたら



ガラスの破片、看板などに注意しながら近くの安全な場所に避難しましょう。

住宅地を歩いていたら



ブロック塀・門柱の転倒、ガラス・瓦の落下、切れた電線に注意しましょう。

1分～2分

火の元・家族の安全を確認

揺れがおさまったら家族で声を掛け合い、お互いの安全確認！

火の元の確認・初期消火



靴を履く(ガラスの破片などから足を守ります。)



出口を確保



非常持出品の用意を！
ガスの元栓、電気のブレーカーを切る！



5分～10分

正しい情報をつかむ
津波予報は地震発生から約3分で発表

大きな地震の後には、引き続き揺れが発生する可能性があります！

テレビ・ラジオなどで正しい情報を確認！



テレビ・ラジオ

NHKなどのデータ放送や、ラジオ各局で地域の災害情報が流れます。

防災行政無線、広報車

屋外スピーカーや広報車などで緊急情報をお知らせします。

緊急速報メール

避難指示発令など緊急度の高い情報を、市内に存在する携帯電話(ドコモ、au、ソフトバンク、楽天モバイル)に一斉送信します。

防災ネットあかし

あらかじめ登録をした携帯電話などへ、緊急情報などの内容を配信します。

情報の入手方法は裏表紙をご覧ください

10分～数時間

状況に応じて冷静に
対応

家屋倒壊の危険などあれば、避難！

隣近所の安否確認



各町内会、自治会で安否確認を



地域ぐるみで協力し合って
救急、救護、初期消火



避難生活
または
自宅で生活

自宅での生活が
可能な場合



自宅での生活が
不可能な場合



避難所等へ

避難所生活は、避難者の方々の共同生活となります。マナーとルールを守り、みんなで支え合いましょう。



南海トラフ巨大地震発生後、

津波

1 mの津波が最短で115分後に
最高津波水位2 mの津波が到達する恐れ、
標高3 m以下の場所におられる方は、
地震発生後60分までに、
「山陽電鉄よりも北へ」避難してください！

東部地区(明石小学校区) → 人丸小学校、明石公園の高台など

東部地区(明石小学校区を除く) → JR線路より北側

西部地区 → 山陽電鉄線路より北側

チェック

あなたの家の構造は？ 【木造・鉄骨・鉄筋】 ・津波 標高3mの ライン内 ライン外
 戸建て住宅 集合住宅(階建ての 階) ・避難先までの移動時間 【 】分